

(公社)日本技術士会 近畿本部 農林水産部会 第23回講演会

日 時: 令和5年6月11日(日) 19:00~20:30(質疑応答含む予定)

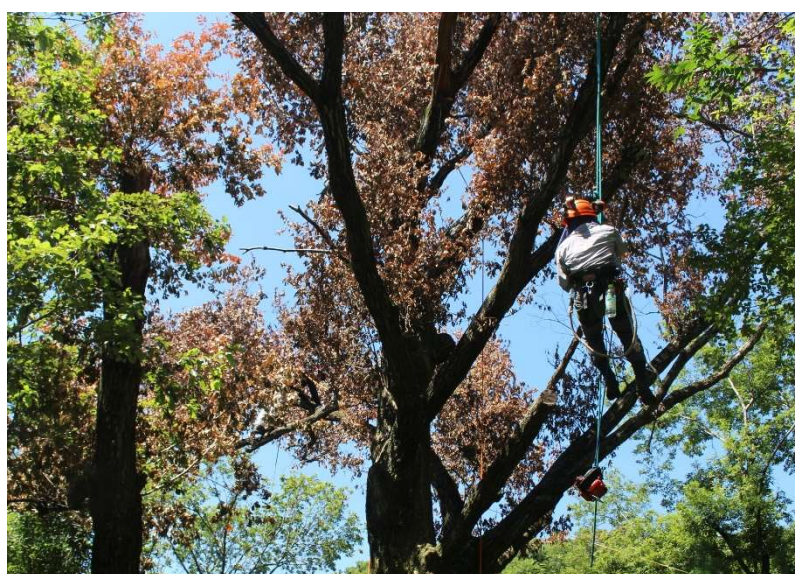
場 所: ZOOMによるオンライン方式

【注】農林水産部会第6回総会(年次大会)後の開催のため、開催時間が若干遅くなる場合がありますのでご了承ください。

講演内容: 市民参加型の県有林保全活動の状況と和歌山の特徴あるキノコ類について

講 師: NPO 法人 根来山げんきの森倶楽部 事務局長 岡田 和久 氏

森林インストラクター、Club 森塾事務局



(概要)

- ・ 根来山げんきの森倶楽部の状況（構成人数、活動状況、県有林活用の成果、効果）等
活動地面積: 195ha メンバー: 230人 効果: 来園者に心地よく、生物多様性の高い里山空間を提供
活動内容: 毎月第3日曜日: 全体作業日(里山整備・炭焼き・歩道補修・草刈りなど)
観察会(キノコ・粘菌・野鳥・夜の生き物・自然全般)、プレーパークほか
- ・ 和歌山県内の特徴あるキノコ類の紹介等
和歌山県は人工林が多く、キノコの豊富な天然林は少ないが、わずかに残る天然林の多くはキノコが共生するモミ・ツガ・アカマツなどの針葉樹林やナラ類・カシ類・シイ類などのブナ科樹木で構成されており、マツタケやサマツ（バカマツタケ・ニセマツタケの総称）など有用キノコも多い。